



番神山古墳全景（西から）



番神山古墳全景（東から）



番神山古墳全景（北西から）



番神山古墳断面（北から）



番神山古墳墓壇断面（北から）



番神山古墳墓壇中央部断面（北から）



番神山古墳西側裾部周辺断面（北から）



番神山古墳東側裾部周辺断面（北から）



番神山古墳墳丘（東から）



番神山古墳墳丘（南西から）



番神山古墳墳丘（西から）



番神山古墳墳頂部（西から）



調査区東側斜面断面（北東から）



S X01断面（北西から）



西側斜面の掘り込み断面（北東から）



番神山古墳南側の円形状の窪み（東から）



番神山古墳南側平坦面（西から）



番神山横穴墓群A9・A10号墓開口状況（南から） 奥の山頂が番神山古墳



番神山横穴墓群A9号墓（南から）



番神山横穴墓群A10号墓（南から）



番神山横穴墓群A9号墓の内部



番神山横穴墓群A10号墓の内部

報 告 書 抄 録

ふりがな	とやましばんじんやまこふん・ばんじんやまよこあなぼくんはつかつちょうさほうこくしょ							
書名	富山市番神山古墳・番神山横穴墓群発掘調査報告書							
副書名	民俗民芸村周辺法面保護工事に伴う埋蔵文化財発掘調査							
シリーズ名	富山市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	102							
編著者名	野垣好史（富山市埋蔵文化財センター）、岡田一広（株式会社エイ・テック）、伊藤茂、佐藤正教、廣田正史、山形秀樹、Zaur Lomtadize・黒沼保子（株式会社パレオ・ラボ）							
編集機関	富山市教育委員会埋蔵文化財センター			株式会社エイ・テック				
編集機関所在地	〒939-2798 富山県富山市婦中町速星754			〒939-1119 富山県高岡市オフィスパーク12				
発行機関	富山市教育委員会							
発行機関所在地	〒939-2798 富山県富山市婦中町速星754							
発行年月日	2020年11月30日							
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	°	′	″	㎡	
番神山古墳	富山市	16201	2011057	36度	137度	20191119 ） 20191217	984.3	民俗民芸村周辺法面保護工事
番神山横穴墓群	番神山		2010225	36度	137度			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
番神山古墳	古墳	古墳時代	円墳（または前方後円墳）1基				径32m（円墳の場合）の古墳を新たに確認	
番神山横穴墓群	横穴	古墳時代	横穴2基				地表に開口する2基を確認	
要約	<p>番神山古墳、番神山横穴墓群は、富山市北西部の呉羽丘陵東斜面の尾根に立地する。番神山古墳は、今回の法面保護工事に伴い新たに確認した。また同尾根ではこれまで後期～終末期の番神山横穴墓群15基が確認されているが、今回新たに2基を確認した。</p> <p>番神山古墳は、墳丘の北半分が昭和期の土砂採取で尾根とともに削平されており、今回工事に伴い法面を精査したところ墓壙が確認された。墳丘は径約32mの円墳として復元したが、削平された北側の尾根筋に前方部が存在した前方後円墳の可能性もある。土層を確認した範囲では、墳丘はほとんど地山削り出しにより築成し、周溝や段築は認められない。墳頂部の墓壙は7.5m前後×4m以上程度の長大なものと推測される。割技法木棺の直葬と推定され、木棺の両側は円礫が配置されている。築造時期は古墳時代前期後半が有力と考えるが、中期以降の可能性もある。</p> <p>番神山横穴墓群の2基の横穴墓については、番神山古墳直下の南斜面で、草木伐採後の地表に小さく開口している状態を確認した。</p> <p>このほか工事断面において、縄文時代晩期あるいは古墳時代の横穴墓蓋道部の可能性のある遺構1基を確認した。</p>							

富山市埋蔵文化財調査報告102

富山市番神山古墳・番神山横穴墓群発掘調査報告書

— 民俗民芸村周辺法面保護工事に伴う埋蔵文化財発掘調査 —

2020（令和2）年11月30日 発行

編 集 富山市教育委員会埋蔵文化財センター
株式会社エイ・テック

発 行 富山市教育委員会
〒939-2798 富山県富山市婦中町達屋754
TEL 076-465-2146 FAX 076-465-5032
E-mail:maizoubunka-01@city.toyama.lg.jp

印 刷 中村印刷工業株式会社